

クラスターとは

「知的クラスター」とは、地域のイニシアティブの下で、独自の研究開発テーマと優れたポテンシャルを有する地域の大学等を核とし、その研究開発成果を更に発展させ事業化につなげるため、地域内外の研究機関や企業等が参画し、連鎖的にイノベーションを創出する集積のことを言います。

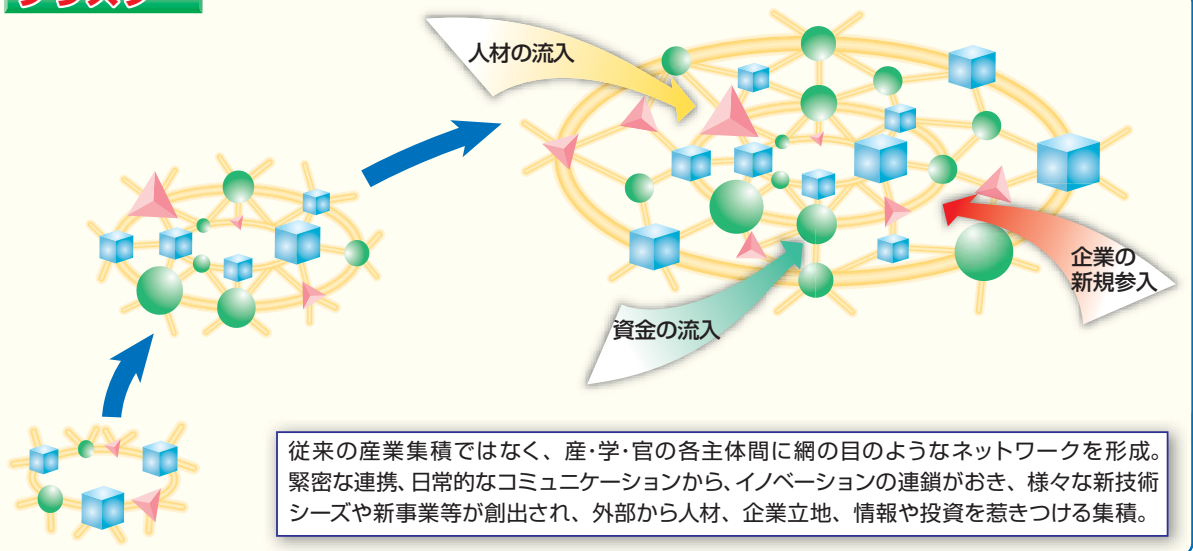
具体的には、地域において産学官の共同研究体制や人的ネットワークが形成され、金融の円滑化、創業支援などの様々な取組により、核をなす大学等の有する独創的な技術シーズと企業の実用化ニーズが相互に刺激しつつ、地域において持続的にイノベーションを起こす仕組みです。

海外の例においても、科学技術をベースにその成果を社会に還元するには長い時間が必要であり、競争力のあるクラスターを形成するためには、長期的な視点に立って様々な取組を展開することが重要です。

クラスターの具体的なイメージ

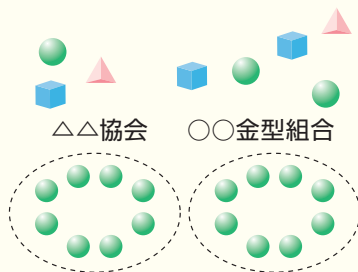
■ 大学等 ● 企業 ▲ 支援機関等

クラスター



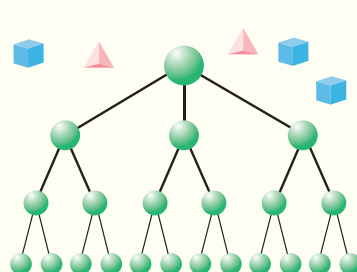
従来の産業集積

産地集積



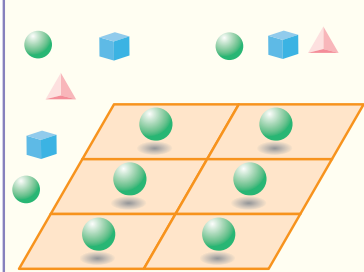
同業者間のネットワークによる協力関係であり、大学や自治体を含めた産学官連携のネットワークは未発達。

企業城下町



中核企業を中心としたピラミッド型のネットワークであり、重層・多層的の連携がなく、企業・大学間のネットワークも希薄。

工業団地



道路や工業用水、環境保護施設などといったインフラの効率的な共有を主眼として整備されており、立地企業間の交流は限定的。